

氏名	廣 畑 聡
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第1572号
学位授与の日付	平成9年3月25日
学位授与の要件	医学研究科内科系内科学第一専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Laminin $\alpha 1, \alpha 2, \alpha 4$ and $\beta 1$ Chain mRNA Expression in Mouse Embryonic, Neonatal, and Adult Hearts (マウス胎児, 新生児, 成体心におけるラミニン $\alpha 1, \alpha 2, \alpha 4$ 及び $\beta 1$ 鎖mRNAの発現)
論文審査委員	教授 大江 透 教授 菅 弘之 教授 槇野 博史

学位論文内容の要旨

胎児, 新生児, 成体心におけるラミニン $\alpha 1, \alpha 2, \alpha 4$ および $\beta 1$ 鎖mRNAの発現をBALB/cマウスにおいて検討した。AGPC法によりmRNAを抽出し, RT-PCR法を用いて各々のmRNA発現を比較した。GAPDH と β -アクチンで各々の発現を補正した。胎児心においては, ラミニン $\alpha 1$ 鎖の比較的強い発現が認められた。他方, 新生児心においては $\alpha 1$ 鎖の発現は非常に弱くまた, 成体心においてはほとんど認められなかった。逆に, ラミニン $\alpha 2$ 鎖の発現は胎児心においては全く認められなかったが, 新生児心においてはごく弱い発現が認められ, 成体心において強い発現を認めた。ラミニン $\alpha 4$ 鎖はラミニン $\alpha 1$ 鎖と類似した発現を示した。すなわち, 胎児心においては強い発現が認められた。他方, 新生児心においては $\alpha 4$ 鎖の発現は弱くまた, 成体心においてはごく弱い発現が認められた。ラミニン $\beta 1$ 鎖は検討した全ての心において同等に発現を認めた。今回の研究により, BALB/cマウス心における発生に伴うラミニン鎖の発現の変化が判明した。

なお, 本論文は共著論文であり, 共著者の協力を得て完成したものである。

論文審査結果の要旨

本研究は胎児, 新生児, 成体心におけるラミニン $\alpha 1, \alpha 2, \alpha 4$ 及び $\beta 1$ 鎖mRNAの発現をBALB/cマウスにおいて検討した研究であるが, 従来十分確立されていなかったBALB/cマウスの発生に伴うラミニン鎖発現の変化に関して重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって, 本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。